

1月 給食だより



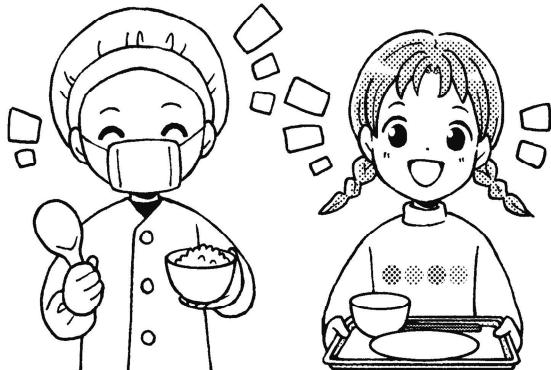
しりつ しょうがっこく
さくら市立南小学校 (さくら市献立研究会)

あけましておめでとうございます。新しい1年がスタートしました。正月に食べるおせち料理や雑煮などの行事食は、昔から食べ継がれていて、家庭や住んでいる地域によっていろいろな違いがあります。周りの友だちや先生と話してくらべてみましょう。

1月の給食目標

【石けんで手を洗いハンカチで手をふこう】

1月24日～30日は
全国学校給食週間



学校給食の始まりは？

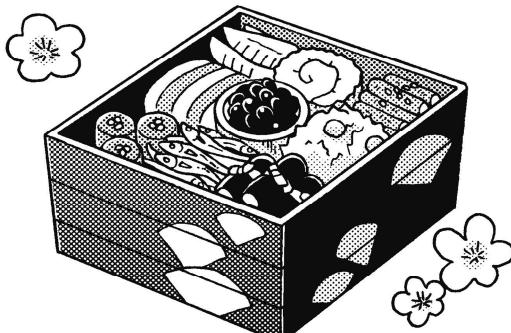
学校給食は、明治22年(1889年)、山形県の忠愛小学校で、家が貧しい子どもたちへ無償で昼食を出したのが始まりとされています。献立は塩さけ、おにぎり、漬物といわれます。その後、全国各地に広まりました。

学校給食の役割は？

現在の学校給食は、栄養バランスのとれた食事で、成長期にある子どもたちの健やかな成長を支え、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。

正月に食べるおせち料理

おせち料理は、もともと旧暦の季節のかわりの「節句」に神様に供えて、それを家族で食べるものでした。本来は五節句(人日、上巳、端午、七夕、重陽)の時のものです、のちに正月の料理だけを指すようになりました。



おせち料理の意味や込められた願い

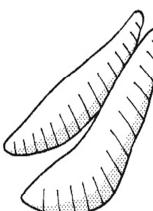
黒豆

「まめ」は丈夫を意味し、健康に暮らせるようにとの願いが込められています。



数の子

にしんの卵はたくさんあることから、子孫繁栄の願いが込められています。



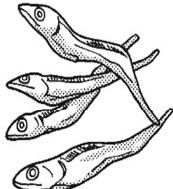
こぶ巻き

よろ「こぶ」の言葉にかけた、縁起ものです。



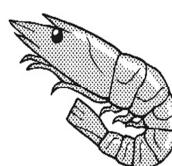
田づくり

かたくちいわしを肥料として田畠にまいて豊作になったことから、五穀豊穣を願っています。



えび

えびのように腰が曲がるまで長生きできるようという願いが込められています。



きんとん

「金団」と書き、財宝に見立てて、豊かな1年を願ったものといわれます。

